



HSホールディングス

2022年3月期第3四半期

決算説明資料

本資料は、当社の2022年3月期第3四半期における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	HSホールディングス株式会社 (HS Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 原 田 泰 成		
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階		
設立	1958年(昭和33年)1月21日		
資本金	12,223百万円		
グループ会社数	〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕2社		
従業員数	〔グループ全体〕 5,735名	(当社単体)	7名
		(連結子会社)	5,249名
		(持分法適用関連会社)	479名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	50,086百万円

2021年12月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継
2021年12月	澤田秀雄が当社代表取締役会長を退任し、新経営体制へ移行 HSホールディングス(株)に商号変更(2022年1月1日より)

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕2社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

2021年12月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	60.00%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	46.80%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	40.19%

※ ソリッド銀行は、2020年5月26日付で、第三者割当増資を実施しており、その結果、当社の議決権比率が減少しております。(45.42% → 44.31%)

※ ソリッド銀行は、2021年3月1日付で、自己株式の買取を実施しており、その結果、当社の議決権比率が増加しております。(44.31% → 46.80%)

※ ハーン銀行は、2020年9月28日付で、IFC(国際金融公社)より自己株式を取得しており、その結果、当社の議決権比率が増加しております。(54.41% → 60.00%)

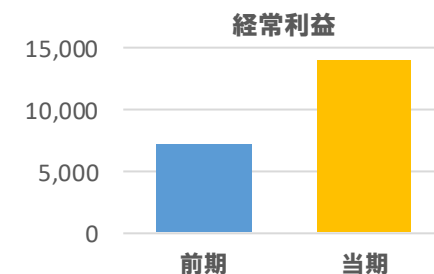
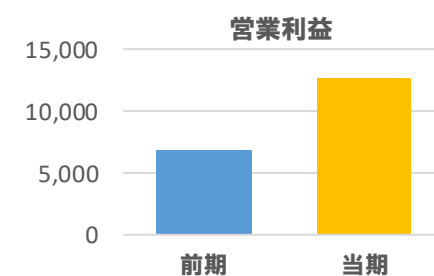
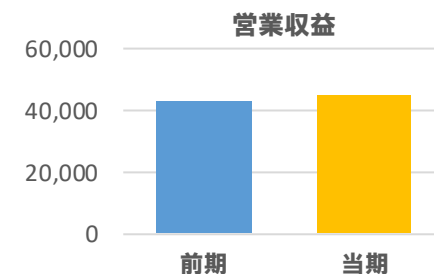
《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	2006年 設立（2007年 当社の証券事業を承継）
● エイチ・エス債権回収株式会社	2006年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	2005年 株式を取得

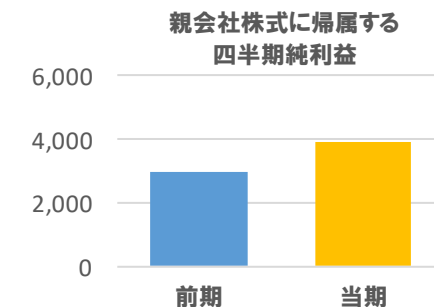
(単位:百万円)

科目 \ 期間	2021年3月期 第3四半期 (2020年4月~2020年12月)	2022年3月期 第3四半期 (2021年4月~2021年12月)	前年同期比
営業収益	43,198	45,200	104.6%
純営業収益	21,404	27,461	128.3%
営業利益	6,905	12,604	182.5%
経常利益	7,102	14,003	197.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,976	3,914	131.5%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2021年3月期 (2021年3月末時点)	2022年3月期 第3四半期 (2022年12月末時点)	前期末比
総資産	499,591	579,426	116.0%
純資産	71,343	77,639	108.8%
現預金	92,317	77,806	84.3%



連結業績の主な増減要因

■【銀行関連事業】 ハーン銀行は増収増益

モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)では、新型コロナウイルスは依然として拡大傾向にあるが、中国経済の回復や10兆トゥグルク規模の景気対策によりモンゴル経済も徐々に回復してきており、また、モンゴル政府が実施した施策により普通預金・当座預金に対する利息の支払いが免除されたことにより資金調達費用が大きく減少したことから、大幅な増収増益となった。

営業収益 401億17百万円（前年同期比 30億83百万円増）

営業利益 119億83百万円（前年同期比 57億29百万円増）

■【証券関連事業】 エイチ・エス証券(株)は減収増益

エイチ・エス証券は、米国での新型コロナウイルスに対するワクチン接種の進展や政府の経済政策などから米国株式市場が好調に推移し外国株式の販売が増加したが内部取引の減少により営業収益はほぼ前年並み。営業利益は経費削減などにより前年同期比で増加。

営業収益 27億30百万円（前年同期比 16百万円減）

営業利益 4億21百万円（前年同期比 83百万円増）

■【債権管理回収関連事業】 エイチ・エス債権回収(株)は減収減益

エイチ・エス債権回収は、不良債権市場に供給される債権が減少し、その影響から債権の仕入価格の高騰が続いており、買取債権残高が減少していることから、減収減益となった。

営業収益 23億84百万円（前年同期比 8億78百万円減）

営業利益 1億84百万円（前年同期比 1億33百万円減）

2022年3月期第3四半期（2021年4月1日～2021年12月31日）

（単位：百万円）

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	40,117	2,730	2,384	-	4,877	45,200
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 40,117 内 -	外 2,695 内 35	外 2,384 内 -	-	外 2 内 4,874	-
営業利益	11,983	421	184	-	4,562	12,604
経常利益	11,983	445	107	-	6,233	14,003

2021年3月期第3四半期（2020年4月1日～2020年12月31日）

（単位：百万円）

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	37,034	2,747	3,263	217	206	43,198
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 37,034 内 -	外 2,681 内 65	外 3,263 内 -	外 215 内 1	外 2 内 203	-
営業利益	6,254	338	317	△47	△30	6,905
経常利益	6,254	362	223	△49	399	7,102

※ 営業収益の内訳（外：外部顧客に対する営業収益／内：セグメント間の内部収益又は振替高）

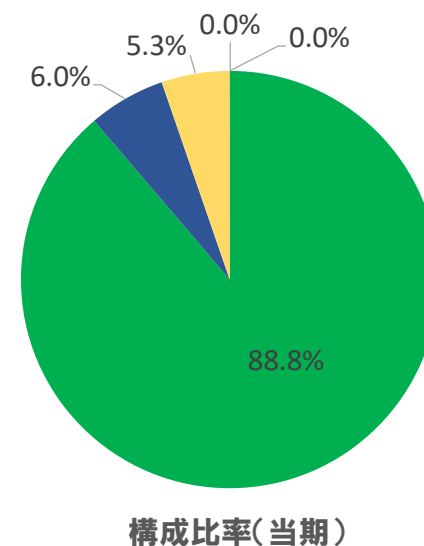
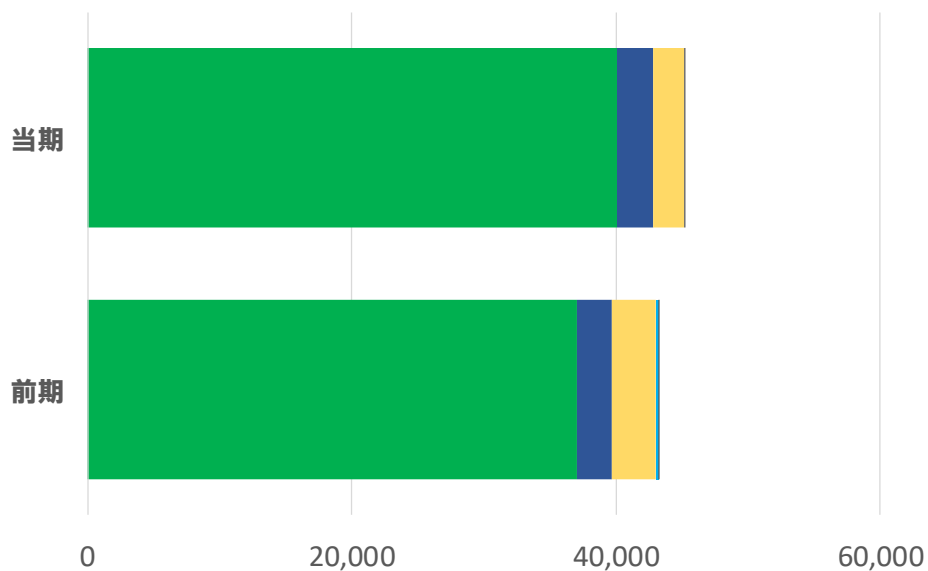
※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。

セグメント別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

（単位：百万円）

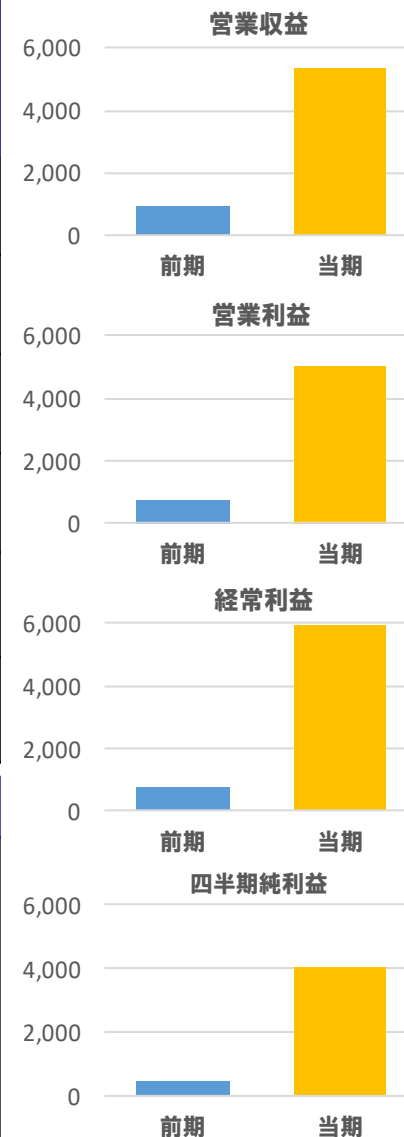
セグメント	期間	2021年3月期第3四半期 （2020年4月～2020年12月）	2022年3月期第3四半期 （2021年4月～2021年12月）	前年同期比
銀行関連事業		37,034	40,117	108.3%
証券関連事業		2,681	2,695	100.5%
債権管理回収関連事業		3,263	2,384	73.1%
IT関連事業		215	-	-%
その他事業		2	2	91.5%
合計		43,198	45,200	104.6%

■ 銀行関連事業 ■ 証券関連事業 ■ 債権管理回収関連事業 ■ IT関連事業 ■ その他事業



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比
営業収益	962	5,347	555.5%
営業利益	725	5,032	693.9%
経常利益	724	5,930	818.9%
当期純利益	445	4,028	904.0%
総資産 【前期末 / 当期末】	27,448	31,923	116.3%
純資産 【前期末 / 当期末】	27,305	30,834	112.9%



主な増減要因

- 関係会社からの配当金が増加したことに伴い、前年同期比で大幅な増収。
(ただし、関係会社配当金・経営管理料は内部取引のため、連結業績には影響しない)
- 当期は為替差益531百万円(前年同期は為替差損242百万円)を計上したことにより、経常利益が増加している。

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2020年12月期 第3四半期</th> <th>2021年12月期 第3四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Interest income (資金運用収益)</td> <td>837,095</td> <td>866,502</td> <td>103.5%</td> </tr> <tr> <td>Net interest income (純資金運用収益)</td> <td>307,906</td> <td>441,257</td> <td>143.3%</td> </tr> <tr> <td>Profit for the period (当期純利益)</td> <td>125,334</td> <td>229,486</td> <td>183.1%</td> </tr> <tr> <td>Total assets (総資産) 【前期末/当期末】</td> <td>12,151,762</td> <td>13,144,438</td> <td>108.2%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2020年12月期 第3四半期	2021年12月期 第3四半期	前年同期比	Interest income (資金運用収益)	837,095	866,502	103.5%	Net interest income (純資金運用収益)	307,906	441,257	143.3%	Profit for the period (当期純利益)	125,334	229,486	183.1%	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	12,151,762	13,144,438	108.2%
科目	2020年12月期 第3四半期		2021年12月期 第3四半期	前年同期比																		
Interest income (資金運用収益)	837,095		866,502	103.5%																		
Net interest income (純資金運用収益)	307,906		441,257	143.3%																		
Profit for the period (当期純利益)	125,334		229,486	183.1%																		
Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	12,151,762	13,144,438	108.2%																			
所在地	モンゴル国 ウランバートル																					
資本金	172,097百万MNT (MNT:トウグルグ)																					
議決権の 所有割合	60.00%																					
主要事業	銀行業																					

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のデジタルバンキングサービスを推進

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、新型コロナウイルス感染症の影響は残っているもののモンゴル経済の回復により資金運用収益は増加し、政府が実施した預金利息免除の施策により資金調達費用が大幅に減少した。また、貸倒引当金繰入額も減少したため、純資金運用収益、当期純利益は大幅に増加した。
- 個人向けにはデジタルバンキングサービスの推進、デビットカード・クレジットカードの新規発行・更新手続きの見直しによる利便性の向上、口座情報や証明書の発行等の銀行サービスを24時間365日受けることができるKIOSK端末の設置拡大など、顧客サービスの更なる向上に注力。
- 2020年1月に施行された年金担保融資に対する法律の影響で個人向け融資が伸び悩むなか、大口企業などの法人向け融資にも注力した結果、法人向け融資が大幅に増加した。

	2020年9月末	2021年9月末	前年同期比	【為替レート】
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	8,620,542	10,685,184	124.0%	2021年9月末 1円 = 25.47MNT
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	4,862,060	6,334,652	130.3%	2021年1月~9月平均 1円 = 26.27MNT

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目 \ 期間</th> <th>2021年3月期 第3四半期</th> <th>2022年3月期 第3四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収益</td> <td>2,747</td> <td>2,730</td> <td>99.4%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>338</td> <td>421</td> <td>124.7%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>362</td> <td>445</td> <td>123.0%</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>230</td> <td>284</td> <td>123.1%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当期末】</td> <td>37,457</td> <td>36,327</td> <td>97.0%</td> </tr> </tbody> </table>	科目 \ 期間	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	営業収益	2,747	2,730	99.4%	営業利益	338	421	124.7%	経常利益	362	445	123.0%	当期純利益	230	284	123.1%	総資産 【前期末/当期末】	37,457	36,327	97.0%
科目 \ 期間	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期	前年同期比																						
営業収益	2,747		2,730	99.4%																						
営業利益	338		421	124.7%																						
経常利益	362		445	123.0%																						
当期純利益	230		284	123.1%																						
総資産 【前期末/当期末】	37,457	36,327	97.0%																							
所在地	東京都新宿区																									
資本金	3,000百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)																									

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 2007年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概況

- 日本国内では新型コロナウイルスの変異株の出現や米国の金利動向等の影響により国内株式市場が伸び悩んだが、米国ではワクチン接種の進展や政府による2兆ドルを超える経済政策の影響で米国株式市場は好調を維持し、主に外国株式の販売が増加した。営業収益はほぼ前年並みだが、経費削減により販管費の伸びを抑制したため増益となった。
- 引き続き、新興国通貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力。また、顧客本位の業務運営の更なる進展、対面とネットの境界をなくしたサービス展開、法人ビジネスの拡大と新たなHSブランドの確立と価値向上を目指す。
- 当第3四半期(2021年10月～12月)の引受業務では、主幹事1社を含む新規公開(IPO)6社の幹事に参入。

	2020年12月末	2021年12月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	302,778	325,543	107.5%

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目 \ 期間</th> <th>2021年3月期 第3四半期</th> <th>2022年3月期 第3四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>3,263</td> <td>2,384</td> <td>73.1%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>317</td> <td>184</td> <td>58.0%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>223</td> <td>107</td> <td>48.1%</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>152</td> <td>72</td> <td>47.3%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末 / 当期末】</td> <td>7,518</td> <td>6,633</td> <td>88.2%</td> </tr> </tbody> </table>	科目 \ 期間	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	売上高	3,263	2,384	73.1%	営業利益	317	184	58.0%	経常利益	223	107	48.1%	当期純利益	152	72	47.3%	総資産 【前期末 / 当期末】	7,518	6,633	88.2%
科目 \ 期間	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期	前年同期比																						
売上高	3,263		2,384	73.1%																						
営業利益	317		184	58.0%																						
経常利益	223		107	48.1%																						
当期純利益	152		72	47.3%																						
総資産 【前期末 / 当期末】	7,518	6,633	88.2%																							
所在地	東京都港区																									
資本金	500百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	債権管理回収業																									

会社プロフィール

- ① 2006年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- ② 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 不良債権市場の継続的な高騰と、各金融機関がコロナ禍での不良債権の処分を積極的に行っていないことから買取債権残高の減少が続き、それに伴い債権の回収は堅調であるものの減少傾向となり、前年度の大幅な売上には至っておらず結果として減収減益となった。
- 債権の回収が進むにつれ買取債権残高は減少傾向にあるが、不良債権市場は引き続き高騰が続いている。コロナ禍による金融機関の緊急融資や制度融資についても、徐々に不良債権の発生は懸念されているものの、不良債権市場に供給されるのは今しばらく時間がかかるものと予想される。今後も債権の買取において厳正な査定を行い、収益性の高い債権の取得を目指す。

	2020年12月末	2021年12月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	2,740	2,161	78.9%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	80	70	87.5%
買取債権残高 (百万円)	7,372	6,449	87.5%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2021年3月期 第3四半期</th> <th>2022年3月期 第3四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収益</td> <td>5,137</td> <td>5,854</td> <td>113.9%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>1,926</td> <td>2,661</td> <td>138.1%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>1,909</td> <td>2,648</td> <td>138.7%</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>1,310</td> <td>1,776</td> <td>135.5%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当期末】</td> <td>134,860</td> <td>141,123</td> <td>104.6%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	営業収益	5,137	5,854	113.9%	営業利益	1,926	2,661	138.1%	経常利益	1,909	2,648	138.7%	当期純利益	1,310	1,776	135.5%	総資産 【前期末/当期末】	134,860	141,123	104.6%
科目	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期	前年同期比																						
営業収益	5,137		5,854	113.9%																						
営業利益	1,926		2,661	138.1%																						
経常利益	1,909		2,648	138.7%																						
当期純利益	1,310		1,776	135.5%																						
総資産 【前期末/当期末】	134,860	141,123	104.6%																							
所在地	東京都港区																									
資本金	778百万円																									
議決権の 所有割合	40.19%																									
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)																									

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 2014年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- 収益単価の高いトルコリラ円において取引数量が増加し、また、新興国通貨ペアにおいてスワップ収益が改善するとともに、プロモーションコスト(広告宣伝費)を抑制したため、増収増益となった。依然として、新たな異業種企業の参入により顧客の獲得競争は激化している。
- 今後は、顧客ニーズを反映した取引ツールの改善や魅力的なスプレッドの提示により顧客の信頼を勝ち取り、また、中長期的に安定した収益確保を実現するため新たな収益源の確立に努める。
- 100円から積立投資ができる新たなサービス「らくらくFX積立」を開始。

	2020年12月末	2021年12月末	前年同期比
口座数 (件)	524,348	566,668	108.1%
預り資産残高 (百万円)	114,871	119,313	103.9%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2020年12月期 第3四半期</th> <th>2021年12月期 第3四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Net interest income (純資金運用収益)</td> <td>152</td> <td>271</td> <td>177.4%</td> </tr> <tr> <td>Net operating income (純業務収益)</td> <td>563</td> <td>773</td> <td>137.4%</td> </tr> <tr> <td>Profit for the period (当期純利益)</td> <td>△110</td> <td>177</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Total assets (総資産) 【前期末/当期末】</td> <td>8,803</td> <td>8,680</td> <td>98.6%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2020年12月期 第3四半期	2021年12月期 第3四半期	前年同期比	Net interest income (純資金運用収益)	152	271	177.4%	Net operating income (純業務収益)	563	773	137.4%	Profit for the period (当期純利益)	△110	177	-	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	8,803	8,680	98.6%
科目	2020年12月期 第3四半期		2021年12月期 第3四半期	前年同期比																		
Net interest income (純資金運用収益)	152		271	177.4%																		
Net operating income (純業務収益)	563		773	137.4%																		
Profit for the period (当期純利益)	△110		177	-																		
Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	8,803	8,680	98.6%																			
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク																					
資本金	1,962百万RUB (RUB:ルーブル)																					
議決権の 所有割合	46.80%																					
主要事業	銀行業																					

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 店舗閉鎖などの影響により預金残高は前年同期から微増にとどまったが、法人向けを中心に融資残高は増加した。また、貸出金利の低下や人件費等のコスト削減の結果、増収増益となった。
- ロシア経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、各種制限措置の解除や原油高により実質GDP(1-9月)は前年同期比で4.3%増加となった。ただし、欧米諸国による経済制裁は継続しており、中央銀行の規制強化により銀行数は減少するなど、厳しい状況が続く。
- 中堅優良企業への貸出や為替取引・貴金属取引等の非金利収入の増加に引き続き注力。また、不良債権の回収、担保物権の売却、預金コストの削減等により、業務の合理化とともに財務状況の改善に取り組む。

	2020年9月末	2021年9月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	5,622	5,729	101.9%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	5,011	5,522	110.2%

【為替レート】
2021年9月末
1RUB = 1.53円
2021年1月～9月平均
1RUB = 1.46円

(単位:百万KGS)

商号	キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	期間			
		科目	2020年12月期 第3四半期	2021年12月期 第3四半期	前年同期比
所在地	キルギス共和国 ビシュケク	Net interest income ※ (純資金運用収益)	186	161	86.7%
資本金	1,000百万KGS (KGS:キルギスソム)	Operating income (純業務収益)	208	173	83.4%
議決権の 所有割合	52.90%	Profit for the period (当期純利益)	28	△30	-
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	5,166	6,144	118.9%

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- キルギス経済の景気悪化は徐々に緩和してきており、預金残高、融資残高はともに増加したが、金利費用の増加により純資金運用収益、純業務収益は前年同期比で減少している。
- キルギス経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響は残っているが、景気悪化は緩和しつつあり、実質GDP(1-9月)は前年同期比で0.1%の増加となった。
- 中小企業や個人顧客への貸出し、新規顧客の開拓による預金残高の増加、モバイルバンキングやカード事業の強化を進める。

※ 上表のNet interest incomeは、貸倒引当金繰入前の純資金運用収益(Net interest income before recovery of impairment losses on interest bearing assets)を表示しております。
また、前年同期の金額は変更される場合があります。

	2020年9月末	2021年9月末	前年同期比	【為替レート】 2021年9月末 1KGS = 1.30円 2021年1月~9月平均 1KGS = 1.28円
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	3,180	4,375	137.6%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	2,921	3,467	118.7%	

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における第3四半期決算日(9月30日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2021年1月～9月(又は9月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)		
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2020年12月期第3四半期		2021年12月期第3四半期	
		期末レート (2020年9月末)	平均レート (2020年1月～9月)	期末レート (2021年9月末)	平均レート (2021年1月～9月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円 = 27.03MNT	1円 = 26.09MNT	1円 = 25.47MNT	1円 = 26.27MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS = 1.33円	1KGS = 1.43円	1KGS = 1.30円	1KGS = 1.28円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB = 1.33円	1RUB = 1.52円	1RUB = 1.53	1RUB = 1.46円